

国語

(国語表現)

発 行 者			教科書の記号・番号	判型	ページ数	検定済年
番 号	名 称	略 称				
2	東京書籍	東書	国表 702	B 5	230	令和 5 年
50	大修館書店	大修館	国表 050-901	B 5	266	令和 8 年

※「教科書の記号・番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

国語表現		冊数	2冊
発行者の略称・教科書の番号	東書702 大修館050-901		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【国語の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- (3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【国語表現の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【国語表現の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
<p>[知識及び技能] 言葉の特徴や使い方に関する事項 我が国の言語文化に関する事項 [思考力、判断力、表現力等] A 話すこと・聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 話題の設定、情報の収集、内容の検討（話すこと） ○ 構成の検討、考えの形成（話すこと） ○ 表現、共有（話すこと） ○ 話題の設定、情報の収集（聞くこと） ○ 構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有（聞くこと） ○ 話題の設定、情報の収集、内容の検討（話し合うこと） ○ 話し合いの進め方の検討、考えの形成、共有（話し合うこと） <p>B 書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 題材の設定、情報の収集、内容の検討 ○ 構成の検討 ○ 考えの形成、記述 ○ 推敲、共有 	<p>(1) 内容の〔思考力、判断力、表現力等〕における授業時数については、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>ア 「A話すこと・聞くこと」に関する指導については、40～50単位時間程度を配当するものとし、計画的に指導すること。</p> <p>イ 「B書くこと」に関する指導については、90～100単位時間程度を配当するものとし、計画的に指導すること。</p> <p>(2) 内容の〔思考力、判断力、表現力等〕に関する指導については、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>ア 「A話すこと・聞くこと」に関する指導については、必要に応じて、発声や発音の仕方、話す速度などを扱うこと。</p> <p>イ 「B書くこと」に関する指導については、必要に応じて、文章の形式などを扱うこと。</p> <p>(3) 教材については、次の事項に留意するものとする。</p> <p>ア 内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の「A話すこと・聞くこと」の教材は、必要に応じて、音声や画像の資料などを用いることができること。</p> <p>イ 内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域における言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。</p>

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表

調査項目	対象の根拠（目標等との関連）
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	学習指導要領第2章第1節第3款1(1)
b 読書に関する指導	学習指導要領第2章第1節第2款第5 2(2)ア
その他の項目（各教科共通）	学習指導要領総則、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）
 - ・ 各単元において、どのような資質・能力を育成できるか見取る。
- b 読書に関する指導
 - ・ 読書に関する指導についてどのように扱っているかを見取る。

《その他の項目》（各教科共通）

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）
 - ・ 学習指導要領の第3款の中で「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて」と言及されているので、国語表現では、各単元（各文章）における「知識及び技能」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の指導の場面がどのように設定されているかという視点で質的な調査をする。
- b 読書に関する指導
 - ・ 学習指導要領では、「自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること」を身に付けることができるよう指導することとされている。このことから、読書に関する指導の場面がどのように設定されているかという視点で質的な調査をする。

《その他の項目》（各教科共通）

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領総則に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫（各教科共通）

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点
- ・ 自立した学習者の育成に資する工夫

教科名	国語
科目名	国語表現

発行者（略称）	東書
教科書番号	国表702
教科書名	国語表現
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・「話す・聞く」と「書く」のそれぞれの言語活動を設定するとともに、場に応じた表現、修辞法、接続表現や「問い」の活用などのポイントを示したコラム「スキルアップ」を掲載しており、学習活動を通じて、言葉の特徴や使い方について理解することができるよう工夫されている。
【話すこと・聞くこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューを通して、質問の仕方、場に応じた表現などを学び、他者との交流を想定しながら自分の考えを深められるよう工夫されている。 ・地域の住民どうしの話し合いを例として、ファシリテーションが機能した話し合いの活動を示し、協力して課題に対する結論の出し方や深く考え合う方法を身に付けられるよう工夫されている。 ・プレゼンテーション活動を通して、資料や機器を効果的に活用して、説得力のある主張をする力が育成できるよう工夫されている。
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文、報告書、提案書、手紙やメールなど論理的・実用的な文章を書く際の注意点がまとめられ、効果的な表現方法を学ぶ活動が設定されている。 また、それらの活動の参考となる文章を各単元末に掲載したり、「思考ツール」の手順を示したりすることで、思考を深めた上で書くことができるように工夫されている。
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の読書意欲を喚起し、読書の幅を広げる「表現と読書活動」という単元が設定され、読書ノート、図書室探検、ブックトーク、ブック・プレゼン・ダイアログ、ビブリオバトル、本の帯・ポップ作りなどが取り上げられ、読書に親しみ、読書の幅を広げる活動や、友達との交流を通して、伝え合う力を養う教材が紹介されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の変遷から日本語の特徴について述べた文章が見られる。 ・他国との比較の中で日本の「挨拶をする」習慣について述べた内容が見られる。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・平田オリザ『『対話』していますか？』という文章の中で、「アイヌや琉球の問題をどう捉えるかといったことも忘れてはなりません。」という記述が見られる。
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都の防災ブック「東京防災」や「『問い』を考えよう」という単元の中で震災に関するインタビュー、「論理的な文章を書こう」という単元の中で災害ボランティアのデータが取り上げられるなど、防災意識を高められるよう工夫されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・野矢茂樹「よい質問とは」という文章の中で「看護師のAさんが、患者である五歳ぐらいの男の子がおしっこを漏らしてしまうというので、おむつをしよう母親に伝えた」という記述が見られる。 ・中村明「読者への配慮」という文章の中で「主婦」という記述が見られる。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の内容をまとめた動画や表現の事例、話し方の動画、語句の小テストなど、多岐にわたる資料に二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインされている。
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に設けられた「この教科書で学習するために」の欄で、各単元の構成と単元で押さえた要点やチェック項目が示されている。

教科名	国語
科目名	国語表現

発行者（略称）	大修館
教科書番号	国表050-901
教科書名	国語表現 改訂版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・「話す・聞く」と「書く」のそれぞれの言語活動を設定するとともに、仮名遣いや漢字、文章の構成の仕方や敬語の使い方等、基礎的な表現について学ぶ場面が設定されており、学習活動を通じて、言葉の特徴や使い方について理解することができるよう工夫されている。
【話すこと・聞くこと】	・自己紹介やスピーチ、プレゼンテーション、ビブリオバトルなどの活動を通して情報を収集し、場の状況に応じて相手の共感が得られるように発表するなど、他者との交流を想定しながら伝え合う内容を検討できるよう工夫されている。 ・インタビューを通して、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えることや、メディアの活用方法について取り上げることで、他者の思いや考え、情報を聞き取り、整理することができるよう工夫されている。 ・ディベートや模擬裁判などの具体的な方法が紹介され、論点を明確にして聞いたり話したりすることや、進行や展開を工夫するなどしながら、話し合いが進められるような活動が設けられている。
【書くこと】	・自己推薦書や志望理由書、小論文等、実社会や自分に関わる事柄の中から話題を決め、文章を書く活動が設けられている。また、書くための情報を収集する手段や表現の要約又は拡張、段落構成などの学習が準備され、それらを組み合わせて書くことができるよう工夫されている。

b 読書に関する指導	
	・自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めるために「読書のひろば」という単元が設定されており、コラムや書籍一覧のほか、ビブリオバトル、リーダーズシアターなどの手法、情報検索の概念図や検索方法等が紹介されている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・回文・折句・しりとり・しゃれや語呂合わせ、詩歌や川柳など我が国の伝統的な表現技法を用いた活動が紹介されている。 ・平田オリザの「対話の大切さ」で、他国と比較しながら日本文化について考える内容が取り上げられている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	・小論文で活用するために掲載されている様々なデータに、「男女間の格差」という項目を設定している。 ・小川洋子の「働く人の姿」という文章の中で固定的な性別役割分担意識が取り上げられている。

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・各章に記載のある二次元コードを読み込むと、学習に関連する資料を参照したり、音声や動画を視聴したりできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	記載なし
自立した学習者の育成に資する工夫	・巻頭に身に付く能力別に教科書の構成を示すとともに、「この教科書で身につく力」で、各単元における身に付けることをねらいとしている項目が示されている。 ・「情報収集の方法」を示すページが設けられている。